# Ⅲ. 軽度注意検査実施マニュアル

## 軽度注意検査実施マニュアル

### １．検査実施準備および注意点

パソコンを設置する際は、画面に蛍光灯や太陽光が映りこむと刺激等が見づらくなりますので、十分に注意して設置してください。

モニタの位置は、被検査者が座る位置から約 60cm の距離に設置し、画面中央が、ちょうど目線の高さにくるようにしてください。また、画面が地面に対して垂直、被検査者の前額面に対して水平になるように設置してください。

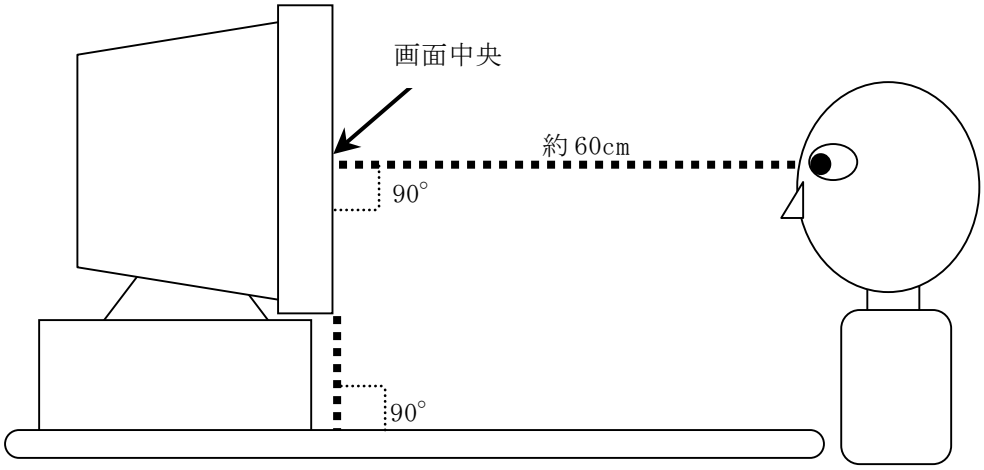



**図 M-3-1　パソコン及びモニタ設置図**

検査開始前の準備として、記録用紙に『検査日時』『結果保存ファイル名』『被検査者情報：名前、性別、年齢』『検査者名』を記入してください。

### ２.検査の実施順序

検査は

4 種図形課題　→　4 種文字課題

という順序で実施します。

## ３．軽度注意検査４種図形課題の実施

・インストラクション

画面に表示される教示文、図、および印刷物を被検査者に見せながら「検査の進行」「課題の内容」について説明を行ってください。教示用の画面は全部で７画面から構成されます（次頁参照）。

教示はただ教示文を読み上げるのではなく、被検査者の理解力に応じて適宜補足をしたり、反復をしたりなどして説明を行ってください。

被検査者に伝える内容のポイントは、

- 図形が２つ連続して呈示されること
- 連続して呈示される図形を比較し、指定されたルールに従って「同じ」か「違う」かを判断する課題であること
- 呈示された図形の色（赤 or 青）に応じて判断をするルールが変わること
- 呈示された図形が赤色だった時は、個々の小さい図形の形（部分）に注目して比較をすること
- 呈示された図形が青色だった時は、図形の配列（全体）に注目して比較をすること
- 「同じ」と解答する時はマウスの左クリックをし、「違う」と解答する時は右クリックをすること
- 解答の時は、左右の押し間違いをしないように、且つなるべく速く反応すること
- 何も反応をしないと約４秒で時間切れとなって次の試行が始まってしまうこと
- 各試行間にインターバルはなく、連続して自動的に検査が進行すること

です。

一通り説明を終えたら理解度の確認のため、練習試行を実施する前に４つの刺激図形を印刷した紙（付録参照）を使い、机上で練習を行ってみてください。

例えば、

「赤で『これ』と『これ』が出た時、答えは『同じ』？『違う』？どっちですか？」

と図形を指し示しながら質問をして、口頭で解答をさせてみてください。

いくつかの組み合わせで質問してみて、あまり間違わないようになったら練習試行を実施してください。理解できていないようならば再度説明を行ってください。ただし、検査の理解ができていない場合でも、練習試行をやらせてみる、あるいはやってみせて理解してもらうという方法を取っても構いません。

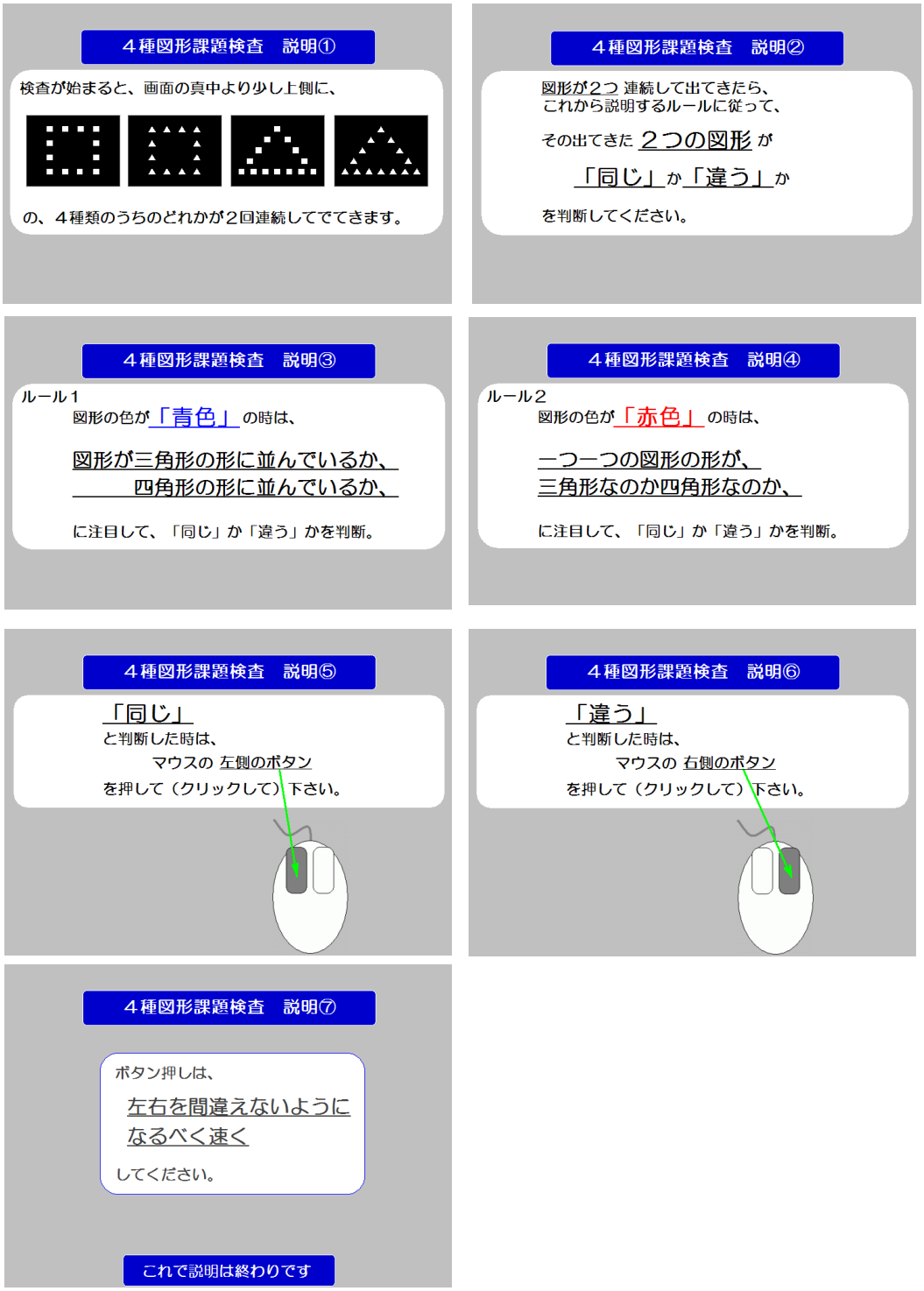



図 M-3-2　インストラクション画面（軽度注意検査４種図形課題）

・練習試行の実施

インストラクションを終えたら、練習試行を実施します。

練習試行は１セット８試行です。

まず、刺激の出るスピード、試行の進み方を理解してもらうため、１セット目は被検査者には反

応をさせずに試行の進行を見てもらう試行とします。その際、ただ黙って見せるのではなく、検査の説明を反復しながら、実際の試行の流れの中で検査の内容を理解できるようにしてください。

この１セット目終了後、実際に被検査者に反応をさせる練習試行を実施してください。

練習試行では、試行中の様子と、正答数、反応時間から被検査者の理解度を判断します。

概ね、8 問中 6 問以上の正答と平均 1000msec 以内の反応時間であれば、十分な理解度であると考えられます（ただし、成績から判断して理解度が十分あると見える時でも、単に適当にクリックをするだけの場合もありますので、きちんと理解した上でクリックをしているかを被検査者の様子も加味して判断してください)。

被検査者の理解度が不十分であると判断される場合、再度説明をしたり、刺激図形を印刷した紙を使った練習を繰り返したりするなどして、もう一度練習試行を実施してください。

被検査者の理解度が十分であると判断される場合、念のためもう一度練習試行を繰り返し、同程度の正答数、反応時間で解答できることを確認してから検査本試行を実施するようにしてください。

練習試行中は被検査者の視界に入らない位置から試行中の様子を観察してください。被検査者が操作に戸惑ったり、全く違う操作を行うというような場合は、その都度、試行の途中でもアドバイスをするなどして、検査の内容を正しく理解できるようにしてください。

また、正答数および練習試行中の被検査者の様子を、記録用紙に記録するようにしてください。

練習試行の繰り返しは、最低でも 2 セット、最大でも 3 セットまでとしてください（最初の観察だけのセットは除く)。

練習試行が終了した段階で、検査の説明をどの程度の説明で理解できたかを記録用紙に記入してください。

※マウスの操作方法については､基本的に利き手を使用することとしますが､特に規定しません。
被検査者のやり易いやり方で構いません。もちろん両手を使って操作しても構いません。被検査者がどちらの手でどのようにマウス操作を行ったかは、記録用紙に記入しておいてください。

・本試行の実施

練習試行を終えたら、説明時に使用した印刷物（マウスクリックの説明等）を片付けて、検査本試行を実施してください。検査本試行は全部で８０試行です。

また、本試行を開始する前に、本試行では反応をしても反応の正誤、反応時間は表示されない、ということを被検査者に対して伝えてください。

検査本試行中も練習試行時と同様に、被検査者の視界に入らない位置から試行中の様子を観察してください。ただし、検査本試行では被検査者が戸惑ったり、検査に集中できていないような様子を見せても静観するようにしてください。

また、検査時の被検査者の様子を記録用紙に記録するようにしてください。

行動観察のポイントとしては

・ 結果に悪影響（反応時間遅延等）を及ぼすような不可抗力のアクシデントがなかったか（例えば、刺激が出るのと同じタイミングでくしゃみが出てしまった、検査中に関係のない人が検査室に入ってきたなど）
・ 刺激が出ていない時にマウスをクリックすることがなかったか
・ 居眠りなどをしていなかったか

などです。

基本的には結果を正しく評価するために必要な情報を記入します。(結果として出てくる反応時間、正答率などの数値をそのまま利用して良いかどうかを判断する際に参考となります)

※検査を途中で止めたい場合は、Ctrl + Bを押してください。検査が強制終了され、検査選択画面に戻ります。その際、検査の結果は一切記録されません。

検査終了後、課題の難易度についてどの程度に感じたかを自己評価をしてもらってください。(質問の仕方：『検査は難しかったですか？やさしかったですか？』等)

また、自分が何問間違えたかについて質問し、その解答を記録用紙に記入してください。(質問の仕方：『ボタンの押し間違いは何回くらいあったと思いますか？』等)

## ４．軽度注意検査４種文字課題の実施

・インストラクション

画面に表示される教示文、図、および印刷物を被検査者に見せながら「検査の進行」「課題の内容」について説明を行ってください。教示用の画面は全部で７画面から構成されます。

教示はただ教示文を読み上げるのではなく、被検査者の理解力に応じて適宜補足をしたり、反復をしたりなどして説明を行ってください。

被検査者に伝える内容のポイントは、

- 単語が２つ連続して呈示されること
- 連続して呈示される単語を比較し、指定されたルールに従って「同じ」か「違う」かを判断する課題であること
- 呈示された単語の色（赤 or 青）に応じて判断をするルールが変わること
- 呈示された単語が赤色だった時は、単語の意味に注目して比較をすること
  （単語の意味（読み方）が『平仮名』か『漢字』か）
- 呈示された単語が青色だった時は、単語の表記に注目して比較をすること
  （単語の表記（書き方）が『平仮名』か『漢字』か）
- 「同じ」と解答する時はマウスの左クリックをし、「違う」と解答する時は右クリックをすること
- 解答の時は、左右の押し間違いをしないように、且つなるべく速く反応すること
- 何も反応をしないと約４秒で時間切れとなって次の試行が始まってしまうこと
- 各試行間にインターバルはなく、連続して自動的に検査が進行すること

です。

一通り説明を終えたら理解度の確認のため、練習試行を実施する前に４つの刺激図形（文字）を印刷した紙（付録参照）を使い、机上で練習を行ってみてください。

例えば、

「赤で『これ』と『これ』が出た時、答えは『同じ』？『違う』？どっちですか？」

と単語を指し示しながら質問をして、口頭で解答をさせてみてください。

いくつかの組み合わせで質問してみて、あまり間違わないようになったら練習試行を実施してください。理解できていないようならば再度説明を行ってください。ただし、検査の理解ができていない場合でも、練習試行をやらせてみる、あるいはやってみせて理解してもらうという方法を取っても構いません。

・練習試行の実施

インストラクションを終えたら、練習試行を実施します。

練習試行は１セット８試行です。

4 種図形課題実施後であれば、刺激の出るスピードや試行の進み方は理解できているので、最初から普通の練習試行を実施してください。そうでない場合は、刺激の出るスピード、試行の進み方を理解してもらうため、１セット目は被検査者には反応をさせずに試行の進行を見てもらう試行とします。その際、ただ黙って見せるのではなく、検査の説明を反復しながら、実際の試行の流れの中で検査の内容を理解できるようにしてください。

練習試行では、試行中の様子と、正答数、反応時間から被検査者の理解度を判断します。

概ね、8 問中 6 問以上の正答と平均 1000msec 以内の反応時間であれば、十分な理解度であると考えられます（ただし、成績から判断して理解度が十分あると見える時でも、単に適当にクリックをするだけの場合もありますので、きちんと理解した上でクリックをしているかを被検査者の様子も加味して判断してください)。

被検査者の理解度が不十分であると判断される場合、再度説明をしたり、刺激図形を印刷した紙を使った練習を繰り返したりするなどして、もう一度練習試行を実施してください。

被検査者の理解度が十分であると判断される場合、念のためもう一度練習試行を繰り返し、同程度の正答数、反応時間で解答できることを確認してから検査本試行を実施するようにしてください。

練習試行中は被検査者の視界に入らない位置から試行中の様子を観察してください。被検査者が操作に戸惑ったり、全く違う操作を行うというような場合は、その都度、試行の途中でもアドバイスをするなどして、検査の内容を正しく理解できるようにしてください。

また、正答数および練習試行中の被検査者の様子を、記録用紙に記録するようにしてください。

練習試行の繰り返しは、最低でも 2 セット、最大でも 4 セットまでとしてください。

練習試行が終了した段階で、検査の説明をどの程度の説明で理解できたかを記録用紙に記入してください。

※マウスの操作方法については、基本的に利き手を使用することとしますが、特に規定しません。被検査者のやり易いやり方で構いません。もちろん両手を使って操作しても構いません。被検査者がどちらの手でどのようにマウス操作を行ったかは、記録用紙に記入しておいてください。

・本試行の実施

練習試行を終えたら、説明時に使用した印刷物（マウスクリックの説明等）を片付けて、検査本試行を実施してください。検査本試行は全部で８０試行です。

また、本試行を開始する前に、本試行では反応をしても反応の正誤、反応時間は表示されない、ということを被検査者に対して伝えてください。

検査本試行中も練習試行時と同様に、被検査者の視界に入らない位置から試行中の様子を観察してください。ただし、検査本試行では被検査者が戸惑ったり、検査に集中できていないような様子を見せても静観するようにしてください。

また、検査時の被検査者の様子を記録用紙に記録するようにしてください。

行動観察のポイントとしては

- 結果に悪影響（反応時間遅延等）を及ぼすような不可抗力のアクシデントがなかったか（例えば、刺激が出るのと同じタイミングでくしゃみが出てしまった、検査中に関係のない人が検査室に入ってきたなど）
- 刺激が出ていない時にマウスをクリックすることがなかったか
- 居眠りなどをしていなかったか

などです。

基本的には結果を正しく評価するために必要な情報を記入します。（結果として出てくる反応時間、正答率などの数値をそのまま利用して良いかどうかを判断する際に参考となります）

※検査を途中で止めたい場合は、Ctrl + Bを押してください。検査が強制終了され、検査選択画面に戻ります。その際、検査の結果は一切記録されません。

検査終了後、課題の難易度についてどの程度に感じたかを自己評価をしてもらってください。（質問の仕方：『検査は難しかったですか？やさしかったですか？』等）

また、自分が何問間違えたかについて質問し、その解答を記録用紙に記入してください。（質問の仕方：『ボタンの押し間違いは何回くらいあったと思いますか？』等）

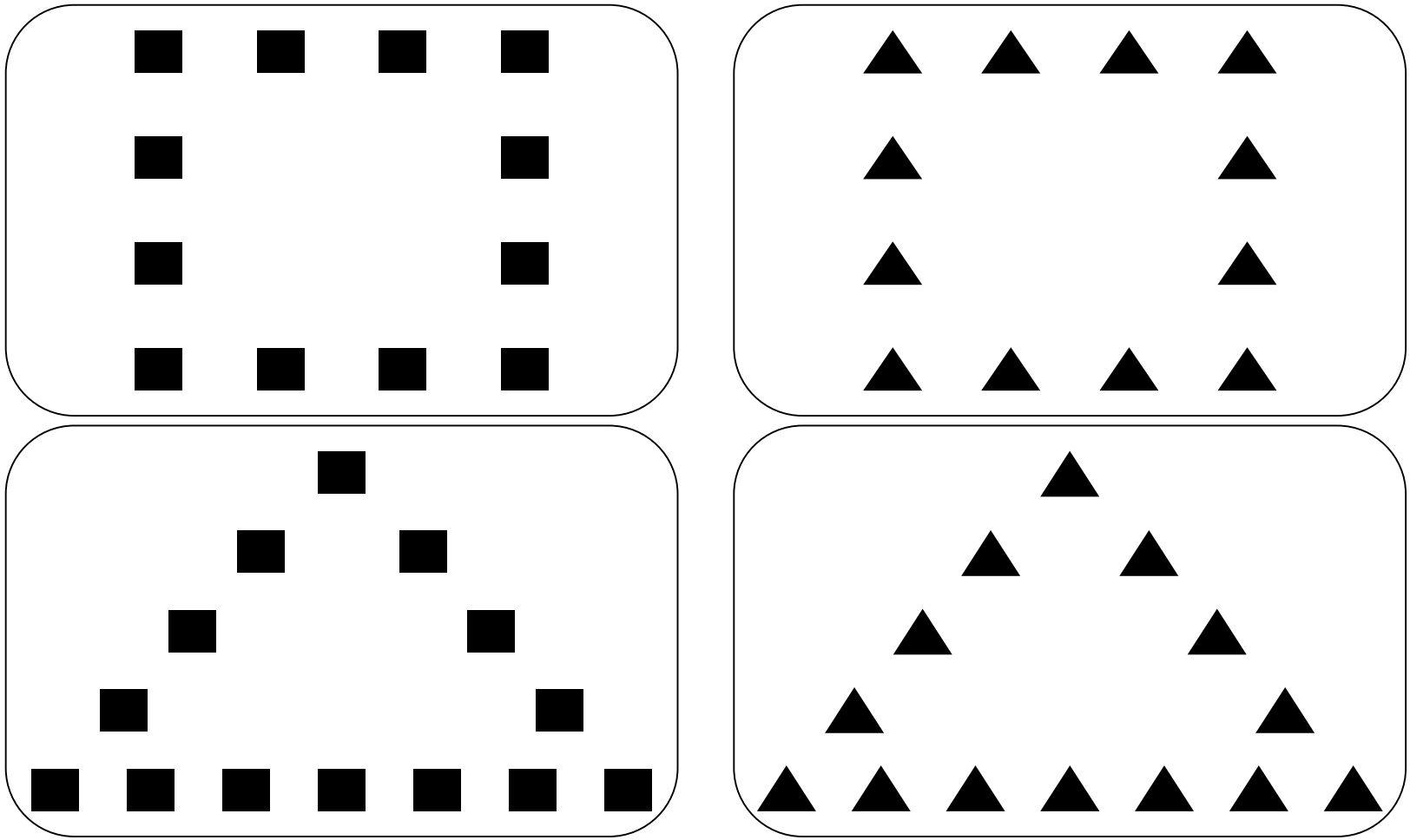
# マニュアル付録１

# 軽度注意検査教示用参照用紙

※検査にご利用の際はCD-ROM内の「軽度注意検査教示用参照用紙」を印刷してご利用ください

赤：「部分」に注目

青：「全体」に注目

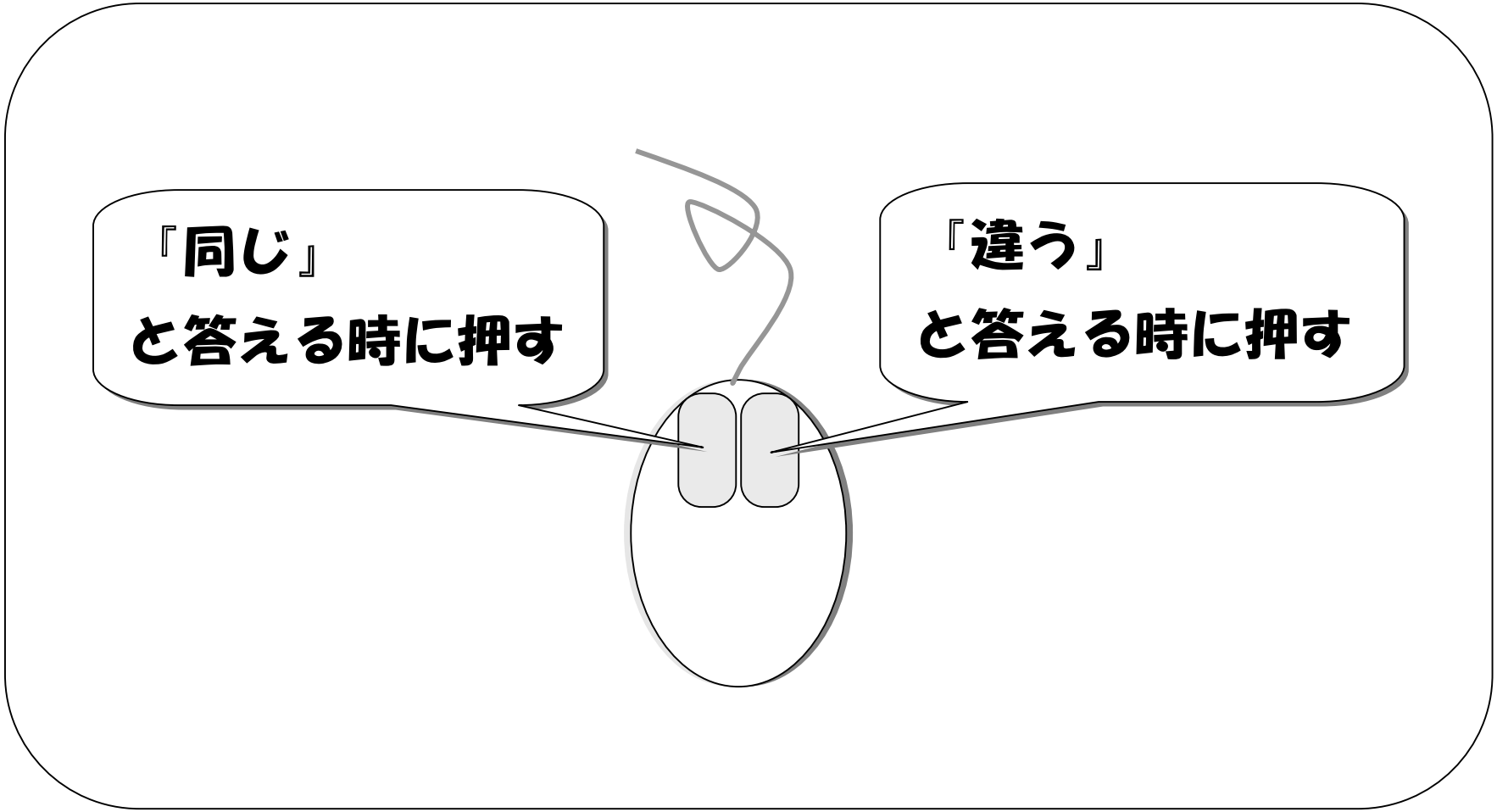


赤：「読み方」に注目

青：「書き方」に注目

| | |
|---|---|
| 漢字 | 平仮名 |
| かんじ | ひらがな |

# マウスの使い方



# マニュアル付録２
# 検査記録用紙

※検査にご利用の際はCD-ROM内の「検査記録用紙」を印刷してご利用ください

# 空間性注意検査

検査日時：　　ファイル名：

被験者名：　　性別：（　男　・　女　）　　年齢：　　歳

## ☆単純反応課題

指示の理解：□言葉だけですんなり可能
□身振りや動作を交えて反復指示
□どうしても指示の理解困難

練　　習：マウス操作手ー『　右　・　左　・その他（　　）』

練習時の様子

本　検　査：マウス操作手ー『　右　・　左　・その他（　　）』

本検査中の様子

自己評価：　□　　□　　□　　□　　□

やさしい　　ふつう　　むずかしい

## ☆弁別反応課題

指示の理解：□言葉だけですんなり可能
□身振りや動作を交えて反復指示
□どうしても指示の理解困難

練　　習：マウス操作手ー『　右　・　左　・その他（　　）』

練習時の様子

本　　番：マウス操作手ー『　右　・　左　・その他（　　）』

本検査中の様子

自己評価：　□　　□　　□　　□　　□

やさしい　　ふつう　　むずかしい

誤答数の本人予想ー＿＿＿＿＿回

検査者名：

# 軽度注意検査

検査日時：　　ファイル名：

被験者名：　　性別：（　男　・　女　）　　年齢：　　歳

## ☆図形条件

指示の理解：□言葉だけですんなり可能
□身振りや動作を交えて反復指示
□どうしても指示の理解困難

練　　習：練習時正答数（1 回目＿＿＿／8 回：2 回目＿＿＿／8 回：3 回目＿＿＿／8 回）

マウス操作手ー『　右　・　左　・その他（　　）』

練習時の様子

本　　番：マウス操作手ー『　右　・　左　・その他（　　）』

本検査中の様子

自己評価：　□　　□　　□　　□　　□
やさしい　　ふつう　　むずかしい

誤答数の本人予想ー＿＿＿＿＿回

## ☆文字条件

指示の理解：□言葉だけですんなり可能
□身振りや動作を交えて反復指示
□どうしても指示の理解困難

練　　習：正答数（1 回目＿＿／8 回：2 回目＿＿／8 回：3 回目＿＿／8 回：4 回目＿＿／8 回）

マウス操作手ー『　右　・　左　・その他（　　）』

練習時の様子

本　　番：マウス操作手ー『　右　・　左　・その他（　　）』

本検査中の様子

自己評価：　□　　□　　□　　□　　□
やさしい　　ふつう　　むずかしい

誤答数の本人予想ー＿＿＿＿＿回

**検査者名：**